

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2012

10月号

Vol.185

毎月1日発行

ゆるる



『みやぎの明るい未来のために
がんばろう!!』



赤い羽根「災害ボランティア・
NPO活動サポート募金」助成事業



掲載団体

- NPO法人みんなの教室
- RQ被災地女性支援センター
- 災害子ども支援ネットワークみやぎ
- 仙台短篇映画祭実行委員会
- NPO法人がんばつと!!玉浦
- 社団福祉法人宮城県共同募金会

個別指導で発達障がい児の

自立を支える

●NPO法人みんなの教室

NPO法人みんなの教室は、大崎市田尻町で発達障がいの子ども達を対象にした、フリースクールや相談などの事業を行っている団体です。理事長の青木彰さんは元小学校教諭です。長年にわたり特別支援学級で指導してきた経験を活かし、二〇一〇年、退職を機に教員仲間とNPO法人を立ち上げました。「発達障がいを持った子どもたちは一人一人個性が違うので、その子に合った個別の指導をすることが大切ですが、そのような個別指導は公教育ではなかなか広がっていません。そこで、その受け皿になるために活動を



▲招待を受けた、六甲山YMCAキャンプ場でのカヌー体験

始めました」と青木さん。

フリースクールは、小、中、高校生が対象で、知識学習のほか、菜園での野菜作りやクラフト作りなどの作業や、社会見学や山登りなどの行事を組み合わせ、個人のニーズや希望を考慮してカリキュラムを作成し指導します。現在大崎では、八人の子どもたちが登録し、学んでいます。

震災を契機に石巻でも活動開始

みんなの教室は二〇一一年一月から、石巻の発達障がい児支援の任意団体『石巻広域アドベンチャークラブ（以下、アドベンチャークラブ）』（代表桜井育子）と交流をするようになりまし。この団体は八年前から活動しており、七〇名近い会員がいます。大震災の津波で活動拠点が全壊。活動休止に追い込まれました。青木さんは、三月二二日に桜井さんのもとへ駆けつけました。その後、アドベンチャークラブが活動できない状況にあるのをうけて、みんなの教室と合同で行事を行うことを提案。六月に、大崎の体験農園のトマト周りの草刈をしました。参加し

た子どもたちは、震災後不便な生活を強いられ、ストレスを感じていたこともあり、大いに喜びました。

その後、みんなの教室とアドベンチャークラブは協働で新しい形のフリースクール「みんなの教室・石巻」を立ち上げます。アドベンチャークラブの子どもたちに限らず、発達障がい児やその家族は避難所や仮設住宅での暮らしが続き、周りに気を遣いストレスを抱えて暮らしていません。青木さんたちは石巻地域のそのような子どもを支援する場の必要性を痛感したのです。

その際利用したのが、宮城県の新しい公共支援事業です。「まさにこれは新しい公共モデル事業。企画を持ち込み、宮城県東部教育事務所の賛同を得て、三者で『みんなの教室協議体』を作って応募しました」と青木さんはいます。結果、昨年一二月末に採択され、二〇一三年三月末まで助成金を受けとることが決まりました。

長期で支援をするために

まず、子どもたちの食育事業に取り組んでいる方を紹介してもらい、石巻市前谷地に土地と畑を格安で借りました。そこに、青木さんが自費でトレーラーハウスを設置して拠点とし、助成金では、パソコンや楽器、絵の道具など、それぞれの興味に合わせて指導できるよう、教材を購入しました。裏の畑では季節に合わせて野菜を育てています。そのほか月

に一度、ハイキングやタケノコ掘りなどの行事を行っています。

現在は、行事と個別相談が主ですが、今後は市内全域を対象に、登録児を増やし、個別指導に力を入れたいと考えています。また、元教師などを中心にボランティアの指導者も増やす予定で、今秋には指導者のための講習会を開催します。

今年の九月一七日には、『みんなの教室・石巻開校記念』として、青木さんの元教え子で現在プロの笙演奏家として活躍する笙YUUさんのコンサートを東松島市で開催しました。

青木さんはコンサートを振り返り、次のように語ります。「この地域にはまだ、家族が子どもの障がいを隠したがる風潮があります。でも、個性に合わせて指導をすれば、こうして将来自立できるといふことを、知ってもらいたかったです。この教室の目標は、子ども達が将来自立できるよう、指導することです。そのためには長い時間がかかります。この地に腰を据えて、地域の方の協力を得ながら、続けていこうと考えられています」

みんなの教室、ならびに発達障がい児支援が石巻にしっかりと根付くよう、挑戦は続きます。

NPO法人みんな教室

〒989-4302 大崎市田尻大貫字二又55
●TEL/FAX：0229-39-162

手づくりでつなぐ地域の輪

●RQ被災地女性支援センター

今年九月六日、気仙沼唐桑で被災者女性たちが段ボールを織機代わりに、裂き織講座を楽しんでいました。この講座を開催しているのがRQ被災地女性支援センター（以下、RQW）です。

RQからRQWへ

RQWは震災後に立ち上がった団体。そもそもは東日本大震災発生直後に立ち上がったRQ市民災害救援センター（以下、RQ）がその母体となっています。

震災直後、多くの団体がボランティアに周知な準備を求めているのに対し、当時のRQ代表者は『サンダル履きでもいいから、とにかく来てくれ』と訴えていたといいます。RQW副代表の石本めぐみさん、スタッフ河崎清美さんを含め、三名の現地スタッフは全員県外からRQの活動に参加。「RQはほかの支援団体に比べ、参加する際の敷居が低かった」と二人は語ります。

その後、阪神・淡路大震災、中越沖地震と同じように、女性を中心とした災害弱者へのサポートが必要だ

ということでした。RQWは現在、登米市のビジネス支援施設「コンテナおおあみ」に拠点を置き、登米市内に避難生活中の方々をはじめ、気仙沼、南三陸での被災者支援・女性支援を行なっています。

活動の中心は「コミュニティづくり

震災から日が浅かった設立当初は物資支援やイベント開催を行っていたものの、時間の経過とともにRQWの活動内容は地域のコミュニティづくりが中心になりました。石本さんはこう語ります。「RQWでは支援先を仮設住宅単位ではなく、地域コミュニティ単位で考えています。支援先を仮設住宅に限定してしまうことで自宅避難をしていた方やみなし仮設に住む人々が辛い思いをしたり、住民同士の摩擦を生んだりする場面を多く見てきました」

コミュニティづくりにおいてRQWの活動の柱となっているのが「お楽しみ講座」です。昨年九月から「手づくり講座」として手芸を中心に始まったものが、現在では料理、水墨



▲裂き織講座を楽しむ女性たち

画、体操などバラエティに富んだ「お楽しみ講座」へと形を変え、被災地の女性たちの心を癒しています。たとえば、フライパンを使ったパン作り講座は、買い物に不自由な仮設住まいでも手軽に焼きたてのパンがつかれると受講者からは好評でした。

「お楽しみ講座」は当面のあいだ続けていきたい、とのこと。冬場に入ると住民の方々が仮設住宅の外に出たがらなくなることをすでに昨年経験済み。そこで今年も地域の見守りをおこなう講座を開催するそうです。

また被災地から地域活性化を目指す女性グループの活動支援も継続していきます。南三陸で伝統食のプロジェクトを考えている農家女性グループ（総勢四五名）には組織づくりを学んでもらおうと経営コンサルタントを招いています。

そのほか、手しごととして本格的な商品の製作に取り組む女性のために開催している「スキルアップ講座」も引き続き実施していきます。たとえ被災地に対する共感がなくても手に取ってもらえるように、カラーコーディネートなどの講座を設けて商品の質を上げていく考えです。

被災地の課題は日本の未来につながる

最後に被災地を傍で支える立場としての所感を聞いてみました。

「被災地とはいえ、突き詰めていくとそこには地域の過疎化、高齢化といった全国の地域コミュニティと同じ問題があることがわかります。南三陸にしても、こうした問題を抱えたまま震災に遭いました。日本の地域共通の課題とその未来が、被災地の復興に重なるって見えるようになります。だからこそ、被災地がそうでないかという視点ではなく、自分たちの課題と捉えつつ、微力であっても出来る限りのことをしていきたいと考えています。」石本さんのこの言葉にはRQWの活動理念そのものが表現されています。

RQ被災地女性支援センター 東北本部

〒987-0511
宮城県登米市迫町佐沼字大綱218-1
コンテナおおあみ
●FAX：0220-44-4202
●URL：http://rqwomen.net/

被災した子ども

心を受け止める

●災害子ども支援ネットワークみやぎ

三月一日の被災直後から、避難所や被災者への物資支援、子どもたちのケアを行ってきたNPO法人チャイルドラインみやぎ代表の小林純子さんが他の団体・個人に呼びかけ、昨年四月六日、災害子ども支援ネットワークみやぎが発足しました。

これまでの活動が支える支援

災害子ども支援ネットワークみやぎは、小林さんがこれまでの子ども支援活動で関わった全国の多くの仲間から支援の申し出を受けたことで、被災直後から県内各地の避難所や仮設住宅、学校などへ支援の輪をつなぐことができました。このような様々なニーズにも迅速な対応をとることができたのは、八〇を超える団体や個人が「子どもたちのために」という思いでつながり、それぞれの担当事業を連携して行ったからです。

加えて、阪神大震災をはじめとするこれまでの活動の経験の蓄積を仲間うちで共有することができていました。そのおかげで、時間経過とともに被災した子どもたちがどのよう

な状況に置かれるかを予測できたことも、支援活動に役立ちました。

災害子ども支援センターの開設

昨年一月には、県内の五つの団体が連携して、小学生以下の子どもの一時的預かりを行うキッズスペース「ツツコロム」（青葉区国分町）、一二月には「ポルカ」（宮城野区幸町）をオープン。どちらも、介護、仕事探し、リフレッシュなどに、だれでも一時間七〇〇円で二時間以上利用でき、ひとり親もしくは被災者であれば、状況に応じて通常の五〇〜一〇〇%の減免になります。

さらに、昨年一二月には同じく五団体が連携し、仙台市からの補助事業として、仙台市宮城野区の「みやぎのちと人権リソースセンター」内に「災害子ども支援センター」を開設しました。

そこでは子を持つ母親向けのチャラシを中心とした情報を得られるほか、収益を活動費に充てる『まごころショップ』、サロン、相談などの事業が行われています。「物資を選びにきた方でも、じっくりとお話し

てくださる方も多いです。もっと多くの方に知って頂き、利用してもらいたいです」とスタッフの高橋由紀さんはいます。暮らしの基盤が整わない中で、まだまだオムツや生理用品、子どもの服などの需要が多いのです。

長期の支援を視野に入れて

「阪神大震災を被災した子どもたちの心のケアは一七年たっても続いている」と代表の小林さん。九月からはチャイルドラインみやぎが子どもたちの心を受け止めるサポーター養成講座を開催しています。被災の記憶という消えない心の傷と折り合って生きていく子どもたちの心を受けとめる大人が必要です。チャイルドラインみやぎが培ってきた子どもたちの心に寄り添う経験を、被災した子



▲学校公演復活プロジェクトで実演した民族歌舞団ほうねん座の公演を楽しむ子どもたち

どもの支援にも活かして欲しいと期待してのことです。

講座では、いじめ・不登校・虐待など子どもたちの悩み、震災後の状況、発達障害等について学び、子どもの気持ちを聴く、傾聴のトレーニングを行う予定です。

小林さんは地域の活性化のためにも、復興計画を作り上げる過程でも子どもたちの声も反映させたいと願っています。これから外からの支援が撤退し、助成金なども減ってくる中で、今後二〇〜三〇年にわたる地元の人間による長い支援が必要と考えるからです。

未だ日常を取り戻せていない子どもたちに無理をさせないために、子どもと親の両方を支えたい。さらには直接子どもたちを支援してくれる方々にも寄り添っていききたい。そのために、広げたネットワークを活用して、被災した子どもたちの状況を全国に発信し続けていくつもりです。

災害子ども支援ネットワークみやぎ

〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5
スカイハイツ202

●TEL : 022-279-7239

●URL : <http://saigai-kodomo.org/>

災害子ども支援センター <平日9:30~17:00>

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-7-2
みやぎのちと人権リソースセンター内

●TEL : 022-292-5290



震災後の物語を求めて〜シヨードピース!

仙台短篇二〇一二年を振り返って

●仙台短篇二〇一二年実行委員長 庄司真希

仙台短篇二〇一二年とは

九月一五日〜一七日の三日間、今年も仙台短篇二〇一二年映画祭が開催されました。仙台短篇二〇一二年映画祭は、二〇〇一年よりスタートし、映画をこよなく愛する社会人や学生の有志で結成された実行委員会が運営をしています。一般の映画館ではなかなか観ることができない良質な短篇二〇一二年映画を上映し、若い作り手を応援することを基本柱に毎秋、せんだいメディアアテーク（以下、メディアアテーク）にて開催しています。

震災の日から『311明日』が生まれるまで

昨年は、一一年目の総会直前に東日本大震災に見舞われました。メイン会場であるメディアアテーク七階は天井が落ち、フロア全体が一年以上使用できなくなりました。共催であるメディアアテークからの事業費負担金もなくなりました。

規模を縮小してでも開催すると決め、会場探しから始めたころ、これ

まで映画祭に関わってくれた映画監督やその関係者の方々より、映画祭を気遣うメッセージを多数いただきました。

「何かできることがあったら言ってみてね」と言葉が、映画を映画祭から生み出したいという思いがあった我々の背中を後押ししました。各監督に「明日」をテーマにした三分一一秒の短篇二〇一二年を依頼。震災に特化したものでなくてもいい、被災地への元気づけでなくてもいい、この大きな価値観の転換期に映画という表現を続けていく人々の思いをそこにぶつけてほしいと願いました。

結果、四一名の監督から参加の意思を確認し、『311明日』という映画が生まれました。この作品は、昨年の映画祭を皮切りに全国の映画祭・映画館、ドイツや韓国でも上映されました。

映画祭の存在意義とは

「もしこの映画祭がなくなってしまうたら、自分たちの作った作品を見せる場がなくなってしまう。それは、東京にいる自分たち映画監督も

被災することだ」

これは、参加監督のひとりがいいた言葉です。多くの監督が仙台という遠く離れた土地の小さな映画祭を自分事として考えてくれることに感謝の気持ちでいっぱいでした。

その思いに答えるべく、今年の映画祭は、『継続く物語を続けよう』をテーマに開催しました。『311明日』から九つの長尺版と新しい物語が生まれました。

初年度より継続している『新しい才能に出会う』というプログラムがあります。公募から選定した数本の作品を上映し、その監督とすでにプロとして映画に関わっている映画関係者をゲストコメンテーターに招きトークセッションを開くことで、映画と観客と作り手をつなぐことを目的としています。

昨年、このプログラムに海外作品として初めて選出され、予算の都合上、呼ぶことができなかった監督を今年は仙台に招待することができました。一二年目にして初の海外ゲストです。

『震災と映画』をテーマに対話の場を設けるなど、見るだけの受動的な娯楽にとどまらない仕組みも提案しました。

映画を取り巻く環境はこの数年で大きく変化しています。制作のコストとリスクを抑えようとする大手制作会社のラインナップにはベストセラーの原作とのタイアップものが溢れ、若手がオリジナル作品を撮ることは難しくなっています。機材は進歩して、

気軽に誰でもが動画を取れる時代になりましたが、才能のある若い作り手にとってあまりいい環境とは言えません。

映画はテレビや新聞とは違う情報の伝え方ができるメディアではないかと思えます。発生から一年半以上が経過し、震災がフィクションで描かれることも多くなってきた今、その中で生きる我々に何か伝える役割を映画が担っていくと思います。その場と人々をつなぐのが、これからの映画祭の役割だとかみしめた三日間でし



▲初の海外ゲストを迎えてのトークセッション

仙台短篇二〇一二年実行委員会

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアアテーク企画活動支援室
気付仙台短篇二〇一二年実行委員会事務局
●E-mail : info@shortpiece.com

玉浦地区の未来を築くために

●NPO法人がんばつと!!玉浦

岩沼市玉浦地区は、東部道路から東側にある農村地域で、大震災の津波で大きな被害を受けました。中でも沿岸部の六つの集落は壊滅的で、住民は仮設住宅に暮らしています。

玉浦地区では震災の四、五年前から「地域を盛り上げよう! 楽しもう!」と集まった三〇〇人程度の住民たちが、それまでにはなかった地域全体での夏祭りを企画するなど、緩やかに活動を続けてきました。その中の主要メンバーだった武田英之さん(現理事長)、氏家義明さん(現副理事長)、谷地沼富勝さん(現理事)が中心になり、震災直後から地域の再生に向けて、「がんばつと玉浦!! 実行委員会」を結成。その後メンバーが増え現在一七名。今年六月にNPO法人の認証を受けました。

ステッカーを制作し配布

震災後、中心メンバー三人は避難所生活を続けながらそれぞれの得意分野を活かして、瓦礫の撤去、行方不明者の捜索にあたる自衛隊への協力、ライフラインの復旧などに尽力。そうした生活を続けるうちに『全

国にもっと玉浦を知ってもらいたい』『被災者の心をひとつにしたい』という話ができました。「それならば、ステッカーを作るう! となりました」と、谷地沼さん。

岩沼地域では、大勢で気持ちを奮い立たせるときには「がんばつと!!」と掛け声をかける習慣がありました。震災以降も住民たちが心の中で叫んでいたこの言葉を口ゴに取入れ、『がんばつと!! 玉浦』のステッカー作りが決定。氏家さんがデザインし、昨年五月に自費で五〇〇〇枚を製作しました。

当初は販売するつもりでしたが、小学校などに無料で配布したところ評判が口コミで広がり希望が殺到したため、結局全て希望者に配布しました。「予定が変わりましたが、皆の気持ちを表したステッカーを地域の方たちに貼ってもらえたので、逆に良かったと思っっています」と氏家さん。さらに三〇〇〇枚も追加で自費制作し、無料で



▲結成のきっかけとなったステッカー

地域再生に向けて取り組み

はじめは個人の集まりでしたが、他団体との交流を続けるうちに、次第に個人ではなく、団体として活動することが増えてきました。そこで、『がんばつと!!玉浦実行委員会』を結成。外からの支援を住民につなぐ役目をしたり、さらに自主的な活動も行うようになっていきました。

昨年八月からは今後の地域再生のため、五〇歳以下の住民向けの意見交換会「おれらの玉浦」を、三か月連続で開催。さらに一〇月には、岩沼市議の各派代表や、市観光協会、市PTA連絡協議会、武田理事長らをパネリストに迎え、岩沼市民が共に復興について考える公開シンポジウムを開きました。その後復興案をまとめ、市主催の復興ワークショップで提言するなどしています。今後もワークショップなどを開き、復興に向け住民の意見の吸い上げなどをしていきたいと考えています。

また、農村地域である玉浦にとつて、農業の復興は地域の生命線です。将来的には県内外の団体などと連携をしながら、農業生産のみならず、加工・流通・販売などを手掛ける農業の六次産業化計画も練っています。手始めに一般の人を対象に田植え体験や稲刈り体験のイベントを開催したほか、子どもたちの野菜の栽培や収穫のできる、子ども農園も開園しました。



▲5月に行われた田植え体験イベント

「まずは玉浦に実際に足を運んでもらい、この良さを多くの方に知ってもらうためにイベントなどを手掛けています。そしてこの地区のファンになっていただき、継続して支援をもらえればと、考えています」と氏家さん。

さらに今後、民間支援を受けて集会所施設「みんなの家」を岩沼に建てる計画があり、がんばつと!!玉浦が中心になります。進めていきます。将来はそこを地域復興の拠点として、農産物の販売なども行いたいと画策中で、新たな玉浦を築くため、歩んでいきます。

NPO法人がんばつと!!玉浦

〒989-2424
岩沼市早股字松原264-5
●TEL: 0223-22-2417
●FAX: 0223-22-2420
●URL: <http://www.tamura.org/>

助け合いの心、 募金という形で届けます！

●社会福祉法人宮城県共同募金会

今月号の表紙に赤い羽根のマークがあることにお気づきでしょうか？月刊ゆるるは昨年度に引き続き、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」から支援金を受けけることが決定したのです。

そこで県内の赤い羽根共同募金に携わる社会福祉法人宮城県共同募金会の震災への取り組みを紹介しましょう。

震災対応の三本柱

東日本大震災と関連する赤い羽根共同募金の活動のうち一般の方々にも広く認知されているのが「全国災害たすけあい」義援金です。これまでに集まった義援金は四〇二億五〇〇〇万円以上（二〇一二年九月一八日現在）、そのお金は被災程度に応じて公平に被災世帯へ分配されています。

しかし、赤い羽根共同募金は義援金以外にも準備金、支援金という形で被災地を支えています。

準備金とは被災地のボランティア活動を支援するために積み立てられている「災害等準備金」です。赤い

羽根共同募金を財源とし、募金額の三％を三年分積み立てることによって備えています。

東日本大震災では東北を中心に多くの災害ボランティアセンター（以下、VC）が立ち上がりました。そのうちの約一〇〇か所のVCへ総額七億三〇〇〇万円（二〇一二年四月一日現在）の活動資金が準備金から助成されています。多くのVCは各市町村の社会福祉協議会を中心に組織されていますが、津波で社会福祉協議会の建物自体が流されてしまった自治体もありました。



▲現在気仙沼VCが入る建物は災害等準備金で建てられました

例えば気仙沼市では、市社会福祉協議会の事務所が全面的に使用できなくなったため、気仙沼VCは市の健康センター内の仮事務所まで活動していました。その後、今年三月によりやく新しい事務所へ入所することになったのですが、その事務所の建設費用に充てられたのが災害等準備金でした。

そして東日本大震災を機に新たに登場した三本柱の柱が、「災害ボランティア・NPO活動サポート募金（以下、ボラサポ）」です。このボラサポは世帯へ分配される義援金、主にVCの活動費に使われている災害等準備金と異なり、被災地の団体支援を目的とした募金です。口座も平時の赤い羽根共同募金とは別口で設けられ、二〇一一年三月一五日の設立から現在まで三七億円以上の募金が集まり、今回の第八回助成決定によつてのベ二〇〇一団体が支援を受けることとなりました。

宮城県にボランティア文化を根付かせるために

宮城県共同募金会課長代理の八木明彦さんによると、ボラサポの申請団体は県内の団体よりも県外の団体の方が多いそうです。八木さんは「もっと自県の団体を増やしたい」といいます。そこで今年の五月から宮城県共同募金会が取り組んでいるのが、「地域ボランティア活動支援事業」。

この事業では、宮城県内に住所を

構え、震災復興に関連する活動を行っている五名以上の団体が申請を申し出ることが出来ます。

支給される金額は一件あたり最大一〇万円と、ボラサポに比べるとその額は小さいものの、「何かボランティアを始めたいけど活動資金がない人たちがボランティアを始め際の第一歩を手助けできれば」と八木さんが語るように、地域のために行動するボランティア団体を増やしたいという主旨がそこにはあります。

すでに第二回まで、のべ三七団体が支援金を受け取りました。これまではお茶っことや夏祭りの開催など、仮設住宅での住民交流活動の申請が多かったのですが、宮城県共同募金会ではこの支援事業によつて、より幅広く草の根のボランティア活動が展開されることを期待しています。

震災から一年半が過ぎ、被災地の状況もボランティア団体の活動内容も変化してきています。宮城県共同募金会ではこれまでの支援活動を継続しつつ、さらに今後は地元のために活動する地元団体の支援に力を注いでいくそうです。

社会福祉法人宮城共同募金会

〒984-0051 仙台市若林区新寺1-4-28

●TEL : 022-292-5001

●FAX : 022-292-5002

●URL : <http://www.akaihane-miyagi.or.jp/>

みやぎNPOプラザNPOフォーラム2012

～知ろう、学ぼう、できることから始めよう!～

**みやぎ
NPOプラザ**
このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。

みやぎNPOプラザ恒例の秋の全館イベント、今年は一ヶ月一八日(日)に、「みやぎNPOプラザNPOフォーラム2012」を知ろう、学ぼう、できることから始めよう!を開催します。
このイベントの目的は、NPOがそれぞれに掲げる目標の達成に向けて積極的に活動できるよう、学びや出会いの機会を提供すること、市民のNPOに対する理解を広げ、市民とNPOとの交流の場を提供することです。

このフォーラムではプラザの施設を大きく三つに分けて、プログラムを組み立てています。

■交流サロン…NPO学びの場

交流サロンでは、NPO活動に役立つ二つの学びの場を提供します。
午前中のプログラムは、「NPOのためのfacebook活用講座」facebookで広報活動大作戦!!」。

facebookは今や世界中の個人や企業にとって必須のコミュニケーションツールとなっており、すでに日本でも1000万人以上が利用しています。この講座は、NPOの広報力アップのためにfacebookを活用しようというものです。講師は、日本財団CANPANマネージャー、日本ソーシヤルプログ協会会長の山田泰久さん。初級者向けの内容なので、facebookを触ったことがない初心者の方にもおすすめの講座です。午後はパネルディスカッションを行います。テーマは、NPOの組織運営のコツ。

県内で長く活動を行っているNPOリーダーをパネラーに招き、「人・モノ・カネ・情報」を効果的に動かし成果を上げるマネジメントの秘訣を、赤裸々に語ってもらいます。パネラーは、NPO法人せんだい杜の子ども劇場代表理事の齋藤純子さん、NPO法人はつぶの森理事長の白木福次郎さん、NPO法人ミヤギユースセンター代表の土

佐昭一郎さん。話を引き出すコーディネーター役はNPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事の大久保朝江さんです。
普段なかなか聞くことができないNPOの組織運営についての話が聞けて、どのNPOにも参考になる話題が満載ですので必見必聴です。

■会議室…みやぎのNPOひろば

市民がNPOをより身近に感じ、さらには活動の担い手になってほしい。そのような想いから、会議室では「みやぎのNPOひろば」と題し、NPOが講座やワークショップによってそれぞれの活動を分かりやすく紹介します。
詳細は調整中ですが、みやぎNPOプラザの貸事務室やショップなどを拠点に活動するNPOが、誰でも気軽に楽しんで参加できる内容の講座・ワークショップを七、八ほど企画予定です。

■ショップスペース…NPOのお店コーナー

プラザ受付窓口となりのショップスペースでは、NPOのお店コーナーを設け、NPOがつくるこだわりの商品を販売します。毎年好評の廃油せっけんや、アクセサリーやポーチなどのフェアトレード商品が並び予定です。

当日のイベントを締めくくるのは「NPOと市民の大交流会」です。参加者の交流をさらに深め、NPOについて語り合える場をつくりたいです。

プラザではフォーラムが充実したものになるよう、現在スタッフ総力を挙げて準備を進めています。詳細は、次号のゆるるで紹介するほか、みやぎNPO情報ネット<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>にも順次情報をアップしますのでぜひチェックしてください。

縦覧中

●NPO法人の設立を新しく申請した団体●

宮城県所轄分8月11日～9月10日 / 仙台市所轄分8月11日～9月10日

団体名	所在地	活動内容	受理日
応援のしっぽ	石巻市	各地域等の民間非営利活動及び企業・地方公共団体等における民間非営利組織への支援活動等に関する情報発信に関する事業等	8/22
NPOしらうめ	石巻市	東日本大震災による被災者に対して、心の安寧と余暇を提供する為に移動図書館等の事業を行う	8/22
東日本パイロット協会	栗原市	青少年及び一般市民に対して、軽飛行機等による飛行訓練や教育、災害時における救援支援事業等を行う	8/28
しんりん	栗原市	森林資源を活用した地域全体の経済活性化や雇用創出の事業等、その他森林資源の cascade 利用に伴う物品の販売事業等を行う	8/30
アミスタ プレシヤスチルドレン	泉区	青少年の健全育成のためのフットボール指導事業、地域住民に対するフットボール競技大会及び各種イベントの開催協力事業等	9/3

●NPO法人に認証された団体●

宮城県所轄分8月11日～9月10日 / 仙台市所轄分8月11日～9月10日

団体名	所在地	活動内容	認証日
みんな一書	泉区	書初め展の開催、WEBサイト・書人ネット運営、パフォーマンス・イベント開催、ワークショップ・セミナー開講等	8/30
時葉堂	泉区	高齢者生活・健康支援事業、高齢者生活文化・芸術文化支援事業、高齢者交流活動支援事業	8/30

宮城県のNPO法人数

678 団体

※9月10日現在

(宮城県等所轄:302団体 仙台市所轄:376団体)

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-hpo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

(指定管理者:(特活)杜の伝言板ゆるる)

TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533

E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

第7回 東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド(GBFund)

- 助成対象：1)被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動(表現方法・形態は不問)
2)被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動
3)その他、当ファンドの目的に合致すると判断される活動
※被災地での実施の有無は不問
- 対象団体：アーティストや芸術団体などの文化関係者に限らず、芸術愛好家や地域の伝統芸能の担い手など幅広い芸術・文化活動を行う市民・団体も対象とします
- 助成金額：原則上限50万円
※ファンドの総額に照らしつつ、選考の都度、助成金額の総額を定め、採択件数および助成金額を検討
※他の助成金等との併願も可能
※同一の団体・活動に対し、継続的に支援する場合もあります
- 募集締切：10月26日(金) 消印有効
- 連絡先：公益社団法人企業メセナ協議会
〒108-0014 東京都港区芝5-3-2 アイセザビル8階
「芸術・文化による震災復興支援ファンド」係
TEL：03-5439-4520 FAX：03-5439-4521
E-mail：gbfund@mecenat.or.jp

「花王・みんなの森づくり活動」2012年助成

- 【「森づくり活動」分野】
- 助成対象：植樹や樹木の管理、里山や雑木林などでの保全・復活活動など
- 対象団体：国内で身近な緑を守り、育てる活動をしている団体(国内に限る)
- 【「環境教育活動」分野】
- 助成対象：子どもたちを対象とした植樹や植花体験活動、里山や雑木林の保全体験活動など、子どもたちが環境を大切に考える心を育む活動
- 対象団体：国内で身近な緑を活用し、子どもたちに緑とのふれあいの機会を創出する活動を行っている団体
- 【共通事項】
- 助成金額：上限金額は初年度50万円(2年目50万円、3年目25万円)を予定(件数15~20団体)
- 助成期間：2013年3月~2016年3月
※活動状況により2年目以降の助成の継続を中止する場合もあり
- 募集締切：10月31日(水) 消印有効
- 連絡先：財団法人都市緑化機構
「花王・みんなの森づくり活動助成」事務局
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-15-2
新神田ビル8階
TEL：03-5256-7161 FAX：03-5256-7164
E-mail：midori.info@urbangreen.or.jp

ちば元気ファンド 東日本大震災市民活動支援2012

- 助成対象：(1)復旧支援活動…復旧作業基盤が整うまでの緊急的活動
(2)生活支援活動…生活基盤や環境を取り戻すため、住民と協働した生活支援活動
(3)復興支援活動・街づくり活動…一人ひとりの生活の質を高め、街の再生や活性化をはかるための住民と協働した街づくり活動 など
- 対象団体：(1)被災地で復興支援活動・街づくり活動をしている市民活動団体
(2)被災者を受け入れている地域で支援活動をしている市民活動団体
※東北3県・千葉県のみならず全国が対象です
- 助成金額：1団体上限50万円(総額：200万円と寄付の合算額)
- 助成期間：2012年12月~2013年12月に実施される事業

- 募集締切：10月末日 必着
- 連絡先：市民ネットワーク千葉県 ちば元気ファンド事務局
〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4-10-11
アイビル6階
TEL：043-201-1051 FAX：043-223-6651
E-mail：chiba@ken-net.gr.jp

平成24年度 みやぎ社会貢献大賞

- 助成対象：宮城県内における社会福祉、公共利益、環境、教育、文化、国際理解などの市民活動
- 対象団体：設立後5年以上活動している団体
※ただし今年度は宮城復興に尽力している団体に限る
- 助成金額：大賞100万円(原則1団体)
ノミネート賞3万円(1次審査通過団体)
- 募集期間：平成24年9月14日(金)~平成24年11月9日(金)
(当日消印有効)
- 連絡先：財団法人愛知控一福祉振興会
〒980-0813 仙台市青葉区米ヶ袋1-5-21
TEL：022-262-0666 FAX：022-227-1320
URL：http://aichi-fukushi.org

2012年度 社会福祉助成 NPO基盤強化資金助成 募集要項

- 助成対象：・次年度以降も継続され、団体の基盤強化に結びつく事業・組織や事業の基盤を強化するために行う、新たな事業あるいは既存事業の拡充
※いずれも2014年3月末までに完了する事業が対象
- 対象団体：東北地区、関東地区(除く東京)で社会福祉に関する活動を行う特定非営利活動法人または社会福祉法人
- 助成金額：1団体上限100万円(総額1500万円を予定)
- 募集期間：10月9日(火)~11月16日(金) 必着
- 連絡先：公益財団法人損保ジャパン記念財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL：03-3349-9570 FAX：03-5322-5257
URL：http://www.sj-foundation.org/

2012年度国内助成プログラム 一般枠

- 【活動助成】
- 助成対象：・地域に生きる人々が主体となり、地域社会の再生・振興に向けて、地域課題の解決に具体的に結びつく意欲的な取り組み
・領域・分野(医療・福祉、教育、まちづくり、文化、教育、災害支援等)を問わない
- 助成金額：1件あたり年間300万円程度まで(総額6,000万円)
- 【地域間連携助成】
- 助成対象：活動助成の要件に加え、
・プロジェクトの実施主体に実績があり、活動の理念が明確であること
・同じ課題を抱える地域の住民・団体同士が連携し、お互いのノウハウやネットワークを活かしながら、共に課題解決に取り組むもの
・活動終了後も地域間の持続的なつながりや、協力関係の創出につながる取り組みであり、成果が広く社会に波及することが期待される取り組みであること
- 助成金額：1件あたり上限1,000万円(総額2,000万円)
- 【共通事項】
- 助成期間：2013年4月1日から1年間または2年間
- 募集締切：11月19日(月)
- 連絡先：公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム
〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル37階 私書箱236号
TEL：03-3344-1701 FAX：03-3342-6911

- 協 力：(特活)日本の森バイオマスネットワーク
- 連 絡 先：(特活)日本の森バイオマスネットワーク
〒989-5625 栗原市志波姫堀口源光11-1
TEL：0228-22-6721 FAX：0228-25-4439
E-mail：bandai@jfbn.org
URL：http://jfbn.org/

10/27 第35回 日本交流分析協会全国年次大会 「心の復興と交流分析」

- 日 時：10月27日(土) 13:00~17:00(受付12:00~)
- 場 所：アークホテル仙台(青葉区大町2-2-10)
- 内 容：★講演1「復興の未来へ 希望の前進」
講師：宮本静子氏(名取市関上中学校教諭)
★講演2「絆の力」
講師：堀田力氏(公益財団法人さわやか福祉財団理事長) ほか
- 定 員：100名(申込先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：氏名、住所、電話番号、FAX、メールアドレス、所属団体名、その他要望等を記入の上、FAXにて申込
- 主 催：(特活)日本交流分析協会東北支部
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-355-7810
E-mail：nihontatouhoku@gol.com
URL：http://jtaatouhoku.web.fc2.com/

10/28 輝け世界に！ 伝えよう未来へ！ 憲法9条を守り生かす宮城のつどい2012

- 日 時：10月28日(日) 12:30~15:00(開場11:30)
- 場 所：仙台国際センター 大ホール
- 内 容：★第1部 講演：「本質的なモラル」ということ
講師：大江健三郎氏
(九条の会呼びかけ人、1994年ノーベル文学賞受賞)
★第2部 演奏：荒川知子とファミリーアンサンブル
曲目：大江光作品、「ラルゴ」(ヘンデル作曲)、
「ソレアード」(イタリア曲) 他
- 参 加 費：無料
- 託 児：要事前予約、2歳以上1人300円
- 手話・要約筆記：要事前予約
- 主 催：みやぎ憲法九条の会
- 連 絡 先：〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5F
TEL：022-728-8812 FAX：022-276-5160
URL：http://www.9jou.jp/

11/1 めざせ！認定NPO法人講座

認定NPO法人制度は、取得したNPOのみならず、寄付者にとっても税制優遇などのメリットがあります。改正された制度や認定要件および基準について学び、認定NPO法人をめざしましょう！

- 日 時：11月1日(木) 14:00~16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ(予定)
- 講 師：関口宏聡氏(特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
- 対 象：宮城県内のNPO法人
- 定 員：30名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：連絡先に電話、FAX、メールにて申込
- 主 催：宮城県
- 企画・実施：(特活)杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：裏表紙をご覧ください

11/8 ~ 12/13 地域のITアドバイザーを目指そう！ 「人の役に立ち」「喜ばれる活動」の 一歩へ ICTサポーター養成講座

「ITスキルを生かし活躍できる場が欲しい」など考えている方のための講座を開きます。一緒に仲間や、やりがいを探してみませんか？終了後も団体見学や補講等サポートします。

- 日 時：11月8日(木)~12月13日(木) 週1回開催
全日程13:00~16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 会議室
- 内 容：★第1回:オリエンテーション(プログラム説明・パソコン基礎)
★第2回:「ワードではがき作成」の実習・伝え方練習
ほか、計6回
- 対 象：・自分のパソコンがあり、自宅学習が可能な方
・Eメールで連絡が取れる方
・シニアや初心者向けのIT講師として活動できる方
- 参 加 費：12,000円(6日間の受講料及びテキストを含む)
- 定 員：10名(先着順)
- 申込方法：参加申込書を、FAX、郵便、メールにて送付ください。
- 申込締切：10月31日
- 主 催：ICT支援NPOネットワーク宮城
- 連 絡 先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPOプラザレターケースNo.39
TEL/FAX：022-293-7767
E-mail：ict@ictnpo-miyagi.jp
URL：http://www.ictnpo-miyagi.jp/

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です！**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで
- ※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

10/25 ~ **10/31** **東日本大震災「こころのケア=フラワーセラピー教室」活動報告パネル展**

被災地で花(植物)を用いて「こころのケア」活動を展開してきました。多くの方々と出会い、数々の感動を頂いた活動の報告パネル展示と、「ココロをあむ」の制作体験教室を行います。

- 日 時：10月25日(木)～10月31日(水)
10:00～16:00
体験教室は所要時間約30分 ※日曜日休館
- 場 所：オンワードスクエアGALLERY
(仙台市青葉区二日町12-34)
※駐車場はありません
- 参加費：入場料・体験花材料費共に無料
- 主催：(特活)フラワーセラピー研究会
- 連絡先：フラワーセラピー研究会仙台地区
TEL：090-9428-4342(上野)

10/25 **「知って得する」健やかな暮らしのために「くすりとの上手な付き合い方」**

- 日 時：10月25日(木)13:30～15:30
- 場 所：シニアネット仙台 サロンわいわい一番町
(仙台市青葉区一番町2-5-12)
- 講師：我妻邦雄氏(宮城県薬剤師会薬事情報センター)
- 参加費：300円(コーヒー付)
- 主催：(特活)シニアのための市民ネットワーク仙台
- 連絡先：(担当：及川)
TEL/FAX：022-217-0101
URL：http://www.sendai-senior.org/rev1/

10/26 **NPOのためのIT相談～組織の運営や日々の活動にもっとITを活用しよう～**

ホームページを作って情報発信したい、SNSで会員やスタッフ間のコミュニケーションを円滑にしたいなど、ITに関することなら何でも相談に応じます。

- 日 時：10月26日(金) 13:00～17:00
※相談時間は1団体約1時間
- 場 所：みやぎNPOプラザ 研修室
- 対象：非営利団体であれば法人・任意は不問
- 定 員：3団体(先着順)
- 参加費：1,000円
- 申込方法：下記連絡先よりダウンロードの所定の申込用紙に、必要事項を明記の上、郵送・FAX・メールにて申込
- 申込締切：10月19日(金)
- 主催：(特活)イー・エルダー東北支部
- 連絡先：〒981-1246 名取市相互台3-18-5
TEL/FAX：022-796-8091
E-mail：tohoku@e-elder.jp
URL：http://www.seniorit.info/ee/

10/26 **元気なうちに老前整理セミナー**

人生を振り返り、今後の人生を見据えたモノと心の整理をしてみませんか？これからの人生を豊かにするために、本当に必要なモノだけを取捨選択し、心も暮らしも軽くなる方法を学びます。

- 日 時：10月26日(金) 14:00～15:30
※懇談会15:30～16:00(自由参加)

- 場 所：イズミティ21(1F) 展示室
- 講師：坂岡洋子氏(株式会社くらしかる代表、老前整理コンサルタント)
- 定 員：100名(先着順)
- 参加費：1,000円(当日支払い)
- 申込方法：下記連絡先まで下記事項を明記の上、電話、FAX、メールにて申込
※参加者名、TEL・FAX、住所、懇談会参加・不参加
- 主催：泉区福祉ガイドブック作成委員会
- 連絡先：TEL：090-2846-2981(担当：佐瀬)
TEL/FAX：022-218-0745
E-mail：izumi8guide@hotmail.co.jp(担当：佐瀬)
URL：http://homepage3.nifty.com/izumi-fukushiguide/

10/26 **NPOのための会計・税務相談**

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日 時：10月26日(金) 13:00～17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 定 員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

10/27 **第16回 仙台ダルクフォーラム**
「学ぼう!!五つの視点から」

今年も仙台市定禅寺通り「珈楽多夢」の美味しい珈琲を用意しております。

- 日 時：10月27日(土) 10:00～16:30
- 場 所：仙台市シルバーセンター 大ホール
- 内 容：★仙台ダルク利用者の話
★講話 森和浩氏(東北会病院外来看護部長)
ほか ※詳細問い合わせ
- 参加費：無料(資料代1,000円)
- 主催：仙台ダルク
- 共 催：(特活)仙台ダルク・グループ
- 連絡先：〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-1-26
TEL：022-261-5341 FAX：022-261-5340
URL：http://www6.ocn.ne.jp/~s-darc/

10/27 **森林と共生する復興まちづくり推進フォーラム**

森林の活用について関心が高まっています。全国で取り組まれている様々な森林活用の事例を学び、森と共に未来へと歩みだす方法を一緒に考えましょう。

- 日 時：10月27日(土) 18:00～20:00
- 場 所：仙台市青年文化センター エッグホール
- 内 容：★基調講演「目からウロコが落ちる森の話」
講師：田中優氏(未来バンク事業組合理事長)
★トークセッション ほか
- 定 員：100名
- 参加費：500円
- 申込方法：所定の申込書に記入の上、電話、メール、FAXにて申込。HPからの申込も可能です
- 主催：(特活)くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所

- 対象 象：東日本大震災・東京電力原発事故の影響で、福島県や宮城県南から仙台市付近に移住してこられた方
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
※お子さんの人数や年齢もお知らせください
- 主催 催：ふくしまほっこりカフェ実行委員会
- 連絡先：ハート&アート空間ピーアイ
仙台市青葉区立町20-11ミカミハウス2階
TEL：022-262-2969 FAX：022-262-2975
E-mail：zoukabako@gold.ocn.ne.jp

10/17 水 市民のためのデザインレイアウト講座

市民の情報発信に必要なチラシ、パンフレットなど印刷物のデザイン・レイアウトの基礎を分かりやすく教えます。制作上の悩み事や困ったことを解決するための手段も一緒に考えていきます。

- 日 時：10月17日(水) 19:00~20:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室2
- 講 師：真山正太氏(グラフィックデザイナー)
- 定 員：15名(申込先着順)
- 参加費：1,000円
- 主催 催：NPOメディアデザインサポート
- 連絡先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11
朝日プラザ北一番丁1階
TEL：090-3049-0613 FAX：022-224-5308
E-mail：npo@md-sendai.com
URL：http://md-sendai.com/npo/

10/18 木 NPOのための経営相談

事業計画を見直したい、何から手をつけていいかわからない…そんな時は外からの視点を取り入れてみませんか？

- 日 時：10月18日(木) 13:00~17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 定 員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主催 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

10/18 木 復興いちから塾

NPOの基礎をわかりやすくお伝えします。また、実際に復興活動をしている方をゲストにお招きし、これまでの活動、はじめたきっかけや想いを伺います。

- 日 時：10月18日(木) 18:30~20:00
- 場 所：大代地区公民館2階 視聴覚室
- ゲ ス ト：佐藤正実氏((特活)20世紀アーカイブ仙台 副理事長)
- 内 容：(1)NPOってなに？(ミニ基礎講座)
(2)ゲストの話の聴いてみよう
(3)ゲストと交流しよう(質問コーナー)
- 定 員：10名(先着順)
- 参加費：500円(資料代)
- 申込方法：所定の申込書を記入の上、当センター窓口またはFAXにて申し込み。HP、電話でも受付可。
申込書はHPからダウンロード可能です。
- 主催 催：多賀城市市民活動サポートセンター
- 連絡先：〒985-0873 多賀城市中央2丁目25番3号
TEL：022-368-7745 FAX：022-309-3706
E-mail：tagajo@sapo-sen.jp
URL：http://www.tagasapo.org/

10/19 金 エコプロダクツ東北2012

企業のCSR取組み紹介、環境配慮製品とシステムの展示、人気料理研究家こうちゃんの簡単エコキッチン!、ホンマちゃんのエコトークショー、セミナー等のイベントを開催。

- 日 時：10月19日(金)、10月20日(土) 10:00~17:00
10月21日(日) 10:00~16:30
- 場 所：夢メッセみやぎ(みやぎ産業交流センター)
- 内 容：「再生と復興(幸)」-「環境問題」と密接に関連
- 参加費：無料
- 主催 催：(特活)環境会議所東北
- 連絡先：〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3-10-6
TEL：022-218-0761 FAX：022-375-7797
URL：http://www.kk-tohoku.or.jp/

10/21 日 ドキュメンタリー映画「珈琲とエンピツ」

紙とエンピツで筆談をして、お客さんとコミュニケーションをとる、静岡県小西市でサーフショップ&ハワイアン雑貨店を営むるろう者の大田蔵さんのドキュメンタリー映画を上映します。

- 日 時：10月21日(日) 13:00~16:00(開場12:30)
- 場 所：せんだいメディアテーク7F スタジオシアター
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 内 容：映画上映、今村監督講演、太田さん講演、質疑応答
- 定 員：180名
※定員に達した場合、当日券は発券しません
- 参加費：1,000円(当日券1,200円)
- 申込方法：下記連絡先まで申込
- 主催 催：みやぎ手話工房フロムハート
「珈琲とエンピツ」仙台上映実行委員会
- 連絡先：FAX：022-251-6189
E-mail：deaf-mute-masakari@r5.dion.ne.jp
URL：http://coffee-to-enpitsu.com/news/index.html

10/22 月 パソコンセキュリティセミナー 2012 in せんだい

もっとパソコンを安全・安心利用し、皆さんが快適に楽しくパソコンを利用して頂きたい、との思いから企画したセミナーです。一緒にセキュリティについて考えましょう。

- 日 時：10月22日(月) 14:00~17:00
- 場 所：仙台市シルバーセンター 1階交流ホール
- 内 容：★「消費トラブルに遭わないために」~ネットトラブルの現状~
★クラウドコンピューティング時代とパソコンセキュリティ
- 対 象：どなたでも参加歓迎
- 定 員：200名(申込先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：往復郵便はがきで次の通り記述し、下記連絡先まで郵送して申し込み
【文面】「セキュリティセミナー参加希望」と記載し郵便番号・住所・氏名を記入
【返信宛先面】郵便番号・住所・氏名を記入
- 主催 催：(特活)仙台シニアネットクラブ/東北情報通信懇談会
- 連絡先：(特活)仙台シニアネットクラブ
〒980-0821 仙台市青葉区春日町6-1 白鳥ビル213号
TEL/FAX：022-395-7921
E-mail：ssnc01@ybb.ne.jp
URL：http://www.sendai-snc.net/

【成果発表会】

- 日 時：10月21日(日) 11:00～12:00
- 場 所：「みやぎのまつり」宮城野区文化センター会場
(宮城野区五輪2-12-70)
- 申込方法：氏名、年齢、電話番号、FAX、住所を明記の上、電話、FAX、メールにて申込
- 主 催：(特活)せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：TEL/FAX：022-375-3548
E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp
URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

10/13 自然葬を考える市民の集い

- 日 時：10月13日(土) 13:30～16:00
- 場 所：仙台市シルバーセンター 第1研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内 容：◆講演「変わるお弔いと葬送基本法の制定と」
講師：安田睦彦氏((特活)葬送の自由をすすめる会東北支部会長)
◆落語「粗忽長屋」(落語家：清川波之丞さん)
- 参加費：500円(当日会場でお支払いください)
- 主 催：(特活)葬送の自由をすすめる会東北支部
- 連絡先：(担当：阿部)
TEL/FAX：022-285-5045

10/13 仙台市シニア活動支援センター 専門相談

傾聴のボランティアへ、参加希望の方への個別相談会を開催します！

- 日 時：10月13日(土) 10:00～16:00
※1名50分程度
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター3F
- 相談員：森山英子氏(仙台傾聴の会代表)
- 対 象：おおむね55歳以上の方で、傾聴活動について知りたい方など
- 定 員：5名(先着順) ※個別相談、グループも可
(10月6日から受付、定員になり次第締切)
- 参加費：無料
- 申込方法：氏名、年齢、住所(自宅または勤務先)、電話番号、FAX番号、メールアドレス、申込動機や相談したいことを明記の上、電話またはFAXにて申込
- 主 催：仙台市シニア活動支援センター
- 連絡先：(担当：小林、葛西、小松)
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター3F
TEL：022-217-3983 FAX：022-217-3984
URL：http://www.city.sendai.jp/shimin/ti-shinkou/center/index.html

10/14 もう一つの進路説明会

- 日 時：10月14日(日) 13:00～15:00
- 場 所：プロミス仙台お客様サービスプラザ
- 内 容：★講演会
我が子に合う高校を選ぶには？
～卒業後、自立できる高校を選びましょう～
★説明会
いろいろある高校卒業(資格)について
～通信制高校・高卒認定試験など～
※終了後、希望者には個別相談を行います
- 講 師：土佐昭一郎氏((特活)ミヤギユースセンター代表)
- 対 象：不登校・高校中退・発達障がいを持った方、またその保護者
- 定 員：30名

- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで申込
- 主 催：(特活)ミヤギユースセンター
- 連絡先：仙台市宮城野区榴岡2-2-8-203
TEL：022-256-7977
URL：http://www.miyagiyouht.npo-jp.net/

10/14 仙台ピアカウンセリングの集い ～第13回 仲間と共に語る場を持ちませんか!～

一人で悩んでいませんか？こんな時だからこそ話し合える仲間が、話す場が必要なんです！仲間と経験と力と希望を分かち合い勇気をもって力強く、一步一步共に歩んでいきましょう！

- 日 時：10月14日(日) 14:00～16:00
- 場 所：仙台市福祉プラザ10F 第4研修室
- 内 容：ひたすら体験を語り又聴くことを通して精神疾患からの回復を目指す自助グループの集いです
- 対 象：精神障害当事者、健常者であっても今回の大地震で心が痛み悩んでいる方や家族の方、及び医療、福祉関係者、ボランティア・福祉に関心を寄せる一般の方(タイプA型例会オープン方式)
- 定 員：20名(予約制)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで電話またはメールにて申込
- 主 催：仙台心のケア研究会
- 後 援：仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぽーと仙台)
- 連絡先：(担当：吉村)
TEL：080-3328-7186
E-mail：qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp

10/14 健康的に歩いて巡る歴史散策 仙台三十三観音堂巡り

仙台の三十三観音は、あまり存在を知られていません。めったに歩かない「杜の都・仙台」を歩き、今まで見えなかった街の顔や自然を発見してみませんか？

- 日 時：10月14日(日) 第二行程(12番～25番札所)
みやぎNPOプラザに8:45集合、9:00出発
- 定 員：50名
- 参加費：一般2,500円、会員2,000円(レジャー保険料、小冊子含む)
- 持ち物：おにぎり ※歩きやすい服装でご参加ください
- 申込方法：所定の申込用紙に記入の上、下記連絡先まで申込、HPからの申込も可能
- 主 催：(特活)楽遊ネットワーク宮城
- 連絡先：〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-14
ハニックスIIビル5F
TEL：022-261-9869 FAX：022-261-0546
E-mail：eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
URL：http://www.eikaiwa-usaclub.jp/rakuyuu.html

10/16 10/23 10/30 火 火 火 ふくしまほっこりカフェ

家族のこと、しごとのこと、学校のこと、これからのこと…今困っていることや知りたいことなどを持ち寄って話します。お茶とお菓子を囲んでゆっくり気軽に話しましょう。

- 日 時：10月16日、23日、30日
(毎週火曜日、全日程10:00～12:00)
- 場 所：ハート&アート空間 ビーアイ

- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 定 員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間。
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

Artgallery「そあとの庭」企画展

10/4 ~ 10/16 HIROMI Healing Art 色めくきもち 色めくきおく展

HIROMI ヒーリングアートの世界をご堪能ください！アートワークショップでは、そあとの庭 癒しの空間にてティータイム/ランチタイムを組み入れた企画になります。

- 日 時：10月4日(木)～10月16日(火) 水曜日定休
10:00～17:00(最終日は15:00まで)
＜アートワークショップ＞要予約、各限定6名
・Aコース「Artセラピー・きもちの色の描き方」
10月13日(土) 14:00～15:30
参加費：2,500円(お茶・デザート付)
・Bコース「チャクラカラーを描く・体と色の対話」
10月14日(日) 11:00～15:00
参加費：3,800円(ランチ付・材料費込)
- 場 所：ArtGallery「そあとの庭」(仙台市青葉区郷六笹の上5-4)
- 展 示：千葉ひろみ氏(仙台市内専門学校・大学にて非常勤講師ほか)
- 主 催：(特活)東北の造形作家を支援する会
- 連 絡 先：ArtGallery「そあとの庭」
〒989-3121 仙台市青葉区郷六笹の上5-4
TEL：022-398-8844 FAX：022-398-8845
E-mail：head@soat.jp
URL：http://www.soat.jp/soat/

10/10 動物介在活動ボランティアセミナー&動物介在活動見学

動物介在活動、動物介在教育、アニマルセラピーなどの内容のセミナーと、活動現場の見学会を開催することになりました。この機会にご参加ください。

- 日 時：10月10日(水) 12:30～16:00(受付開始12:15)
- 場 所：仙台市中山市民センター(仙台市青葉区中山3-13-1)
- 内 容：★第1部 セミナー「動物介在活動に参加するために」

講師：新木由美氏(獣医師、(特活)エーキューブ会員)
★第2部 動物介在活動見学「小学生と動物のふれあい教室」

- 定 員：20名(申込先着順)
- 参 加 費：無料
- 主 催：(特活)エーキューブ
- 連 絡 先：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町6-3-3
TEL：080-5224-6758
E-mail：info@a-cube-sendai.com
URL：http://www.a-cube-sendai.com/

10/13 土 UNICafe～気軽なユニセフ入門講座～

ビデオ視聴やワークショップを通して、ユニセフ活動を理解します。ボランティア活動に興味のある方、ぜひ「ユニセフ」のことを知ってください。

- 日 時：10月13日(土) 13:00～16:00
- 場 所：みやぎ生協文化会館ウィズ 調理室
- 参 加 費：無料
- 定 員：20名
- 申込方法：電話・FAX・メールにて下記連絡先まで申込
- 主 催：宮城県ユニセフ協会
- 連 絡 先：〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
みやぎ生協ウィズ内
TEL：022-218-5358 FAX：022-218-5945
E-mail：sn.municef_miyagi@todock.jp
URL：http://www.unicef-miyagi.gr.jp/

2012年 震災復興支援

10/13 土 10/21 日 ファミリー和太鼓 ワークショップ&成果発表会

毎年好評の和太鼓合宿を、今年も震災復興支援として「日帰り・参加費無料」で開催します。初めての人も、経験者も、皆で思いっきり汗を流して、明日への一歩を踏み出しましょう！

【和太鼓ワークショップ】

- 日 時：10月13日(土) 9:45～17:00
- 場 所：民族歌舞団ほうねん座 稽古場
(太白区秋保町長袋菅刈山43-1)
- 内 容：★模範演技 ★ワークショップ など
- 対 象：小学生親子
- 定 員：20組程度
- 参 加 費：無料(指導料・昼食代含む)

ありがとうございます!! 今月の新入会員・継続会員 (2012.9.16現在)敬称略

●正会員 48名

★仙台市 ●くりこま高原自然学校 佐々木豊志
●仙台シニアネットクラブ ●関本英太郎

●賛助会員 100名

★柴田町 ●とっておきの広場 ★利府町 ●生活リハビリクラブきらら
★仙台市 ●阿部幸一 ●梅森収 ●大田弘子 ●小山かほる ●宮内昭穂

会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会でのご寄付はございません。

郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる**

(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

9月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア募集

仙台傾聴の会 傾聴ボランティア養成講座 ～あなたの心に寄りそう～

人は誰かに話を聞いてもらうことで、心が軽くなり、浄化され、悩みの半分は軽減されるといわれています。孤独感や心の病を抱えている被災者に寄り添う活動をしてみませんか？

- 日 時：①10月31日(水) ②11月12日(月)
③11月23日(金) 全日10:00～15:00
※3日間全課程出席の方に修了書を発行
- 内 容：「傾聴の基本」「共感と受容」「ロールプレイング」ほか
- 場 所：①、③仙台市シルバーセンター 第2研修室
②仙台市福祉プラザ11F 第1研修室
- 講 師：吉川ちひろ氏(臨床心理士)、森山英子氏
- 定 員：30名
- 参加費：5,000円 ※振り込み後は返金不可
- 持ち物：筆記用具、昼食(各自持参)、動きやすい服装
- 申込方法：下記連絡先まで電話にて要事前申込、その後下記口座へ参加費を振り込み
振込口座：ゆうちょ銀行
記号番号 02220-7-132043 仙台傾聴の会
- 申込締切：定員になり次第締切
- 主 催：仙台傾聴の会
- 連絡先：TEL：090-6253-5640(担当：森山)

お知らせ

平成25年度 児童福祉週間標語募集

毎年5月5日「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」としてみなさんにお知らせしています。「児童福祉週間」のポスターやイベントに使う標語を募集いたします。

- 応募方法：所定の応募用紙に記入のうえ事務局にFAX、郵便、インターネットにて下記連絡先まで応募
- 応募締切：10月22日(月)
- 主 催：厚生労働省・(社福)全国社会福祉協議会・財団法人こども未来財団
- 連絡先：財団法人こども未来財団「標語募集」係
〒105-0003 東京都港区西新橋1-12-10
西新橋ホームビル4F
TEL：03-5510-1833 FAX：03-5510-1835
<http://www.kodomomiraizaidan.or.jp/>

史跡のまち再生事業

第1回 多賀城碑のなぞを探る！

古代多賀城を知る唯一重要な文献資料としての国重要文化財の多賀城碑。いまだ解明されていないテーマをみなさんと一緒に解きませんか？独創的な解明をお待ちしております。

- 募集テーマ：下記の2つのテーマのうちどちらかを選択し、その解釈とその根拠を作文してください
(1)「西」は何を意味しているのか？
(2)「多賀城」の由来は？
※応募作品はオリジナル作品に限る
※本文の字数は1,000字程度、原稿用紙もしくはワープロ原稿
- 表 彰：入選者及び大賞受賞者へ記念品進呈
- 申込方法：テーマ番号、氏名、住所、連絡先(携帯電話可)、年齢、性別、職業(学生の場合は学校名・学年)を記載したものを同封の上、下記連絡先まで郵送にて申込
- 申込締切：10月20日(土) 必着
- 主 催：多賀城市史跡案内サークル、みやぎ街道交流会
- 連絡先：多賀城市史跡案内サークル(担当：大橋)
〒985-0873 多賀城市中央2-25-3
多賀城市市民活動サポートセンター
レターケース4「多賀城市史跡案内サークル」宛
TEL：090-1937-3147

電話相談

女性への暴力電話相談

ドメスティック・バイオレンスや性暴力の被害に関する問題を抱えている方からの相談に応じます。一人で悩みを抱えず、どうぞご相談ください

- 日 時：10月2日、9日、16日、23日、30日
(全て火曜日) 14:00～19:00
- 主 催：仙台市/財団法人せんだい男女共同参画財団
- 相談電話番号：022-268-5145

事業案内

傾聴やカウンセリングに興味のある方の生徒募集

特に毎日の生活の中で使える上手な話の聞き方、話しの進め方を学びます。

- 日 時：毎週火曜日 19:00～21:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室
- 参加費：1回1,000円、テキスト代1,300円(初回のみ)
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催：はあとランド
- 連絡先：TEL：080-5225-7532

イベント

毎週水曜 NPOのための法人設立・団体運営相談

NPO法人の設立に関わることやNPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- 日 時：毎週水曜日 13:00～17:00

みやぎNPOプラザ

NPOフォーラム 2012

～知ろう、学ぼう、できることから始めよう!～

みやぎのNPOがさらに元気になり、NPOをもっと身近に感じられる市民社会を目指し、今年もNPOフォーラムを開催します。「NPOってどんなことをしているの?」という方から、長年NPO活動に取り組んでいる方まで、誰でも気軽に参加できるプログラムがいっぱいです。

日時 11/18(日) 10:30～16:30

会場 みやぎNPOプラザ 全館

主催:宮城県 企画・実施:NPO法人杜の伝言板ゆるる

@交流サロン
10:30～12:00

Facebookで広報活動大作戦!!

Facebookは今やコミュニケーションに必須のツールで、日本では1000万人以上が使用し、さらにユーザーが増え続けています。これを私たちNPOの情報発信に活用しない手はありません。この旬のツールの活用方法を学び、広報力UPを目指します。

講師: **山田泰久さん**(日本財団CANPAN マネージャー、日本ソーシャルブログ協会会長)

@交流サロン
13:00～15:00

あのリーダーに聞く!NPOの組織運営のツボ

多くのNPOが抱える悩み…それは、組織運営のマネジメント。そこで今回は組織運営も順調、元気で活発な活動を続けるNPOのリーダーに、組織運営マネジメントのツボを赤裸々に語ってもらいます!

パネラー(50音順): 齋藤純子さん(NPO法人せんだい杜の子ども劇場代表理事)、白木福次郎さん(NPO法人ほっぶの森理事長)、土佐昭一郎さん(NPO法人ミヤギユースセンター代表)

@会議室(4室) … プラザを拠点に活動するNPOの活動紹介

@ショップコーナー … プラザを拠点に活動するNPOのショップ販売

●その他にも行政によるNPO相談コーナー、参加者同士の交流会など内容もりたくさん!

Web約款で日本の自然を守ろう!
SAVE JAPAN プロジェクト

共同シンポジウム

「水辺の再生 よみがえる魚たちII」 第1部 ゆたかな自然を子どもたちへ

11/3
土
10:00～12:00

あなたが関われる環境保護を考えてみませんか?

私たちの身近な水辺で、これまで生きてきた魚たちが絶滅の危機に陥っています。今回のシンポジウムでは、絶滅危惧種の保護と復元に取り組む鹿島台の人々の活動を報告します。豊かな自然を次世代へ引き継いでいくために、今後こういった取り組みが必要とされているのか、考えます。

■会場: エル・パーク仙台セミナーホール1、2
(仙台市青葉区一番町4-11-1)

■内容: ●報告会(SAVE JAPANプロジェクト
「自然と触れ合う 水辺の貴重な生き物観察会」、
「ゼニタナゴに出会い、自然の恵みを味わう!」)
●リレートーク ●自由討論

■申込方法: 代表者名、代表者連絡先(TEL、FAX、E-mail)、
全参加者名(年齢・学年、性別、居住地)を、
電話、FAX、E-mailにて、ご連絡ください。

■申込締切: 10月26日(金)

■共催: NPO法人シナイモツゴ郷の会
NPO法人杜の伝言板ゆるる
認定NPO法人日本NPOセンター

■協賛: 株式会社損害保険ジャパン

■後援: 仙台市・仙台市教育委員会

●申込み・お問合せ: NPO法人杜の伝言板ゆるる(下記連絡先をご覧ください)